

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 藤沢市湘南台4丁目新築工事	階数	地上10F
建設地	藤沢市湘南台4丁目8-1,2,3,4,5,14,15	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	400人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2020年10月2日
敷地面積	3,320㎡	作成者	榊宮田建築事務所
建築面積	1,203㎡	確認日	2020年10月2日
延床面積	7,295㎡	確認者	榊宮田建築事務所

外観バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 小田急電鉄江ノ島線・相模鉄道いずみ野線・横浜市営地下鉄ブルーライン 「湘南台」駅より徒歩4分の第二種住居地域に、住宅単一用途の共同住宅を計画した。</p>	<p>その他 0</p>	
<p>Q1 室内環境 専用部について、断熱性能等級4とし、カーテンと底にて昼光制御を行っている。また、建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。</p>	<p>Q2 サービス性能 住宅性能評価における劣化対策等級3を取得し、階高にゆとりを持たせた設計としている。また、空調・給排水配管の更新対策にも配慮するなど、建物のサービス性能の向上に努めている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 0</p>
<p>LR1 エネルギー 断熱性能等級4とし、建物全体のBEI=0.91としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材等を使用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境 LCCO2排出率81%とし、光害対策にも配慮した設計としている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される